

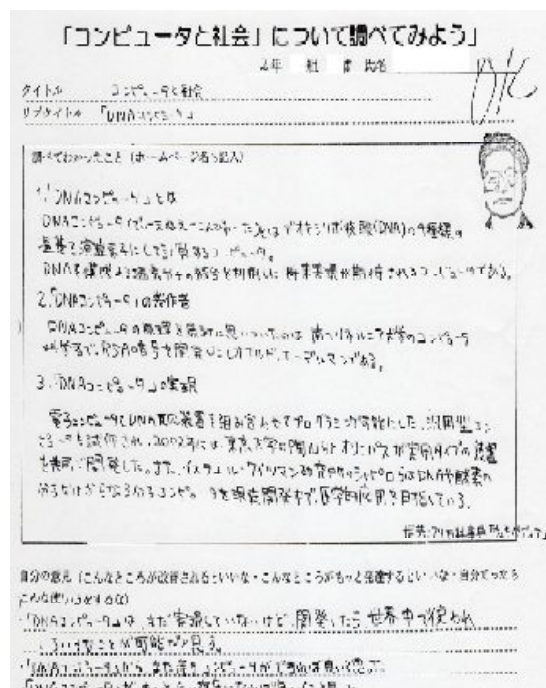
題 材 名	「コンピュータと社会」について考えよう																				
内容・項目	D－（１）エ（２）アイ（関連 A－（１）アイ）																				
指導時間	9 時間																				
題材のねらい (題材の特徴)	「情報に関する技術の適切な評価・活用」と「デジタル作品の設計・製作」を関連付けることで、情報の「収集」→「選択」→「まとめ」→「発信」の流れを作れ、授業内容の深まりと効率化を図ることができると考えた。「コンピュータと社会」について、自分の興味があるテーマを設定することで意欲的に学習に取り組むことができる。プレゼンテーションソフトは、今後も利用する可能性の高い Microsoft Office Power Point を使用し、将来も使える技能の習得を考えた。また、Power Point での作成マニュアルを使って制作に取り組ませることで、制作途中でつまづく生徒を極力少なくすることができる。																				
学習の流れ (展開の工夫)	<table><tr><th>時 間</th><th>指導項目</th><th>主な指導内容</th></tr><tr><td>1 時間</td><td>・ ガイダンスと テーマ設定</td><td>・ 見本を配付し、授業の流れを説明することで、内容を把握させる。 ・ 昨年度の生徒たちが選んだテーマを例示し、参考にさせる。【学ぶエネルギー】</td></tr><tr><td>2 時間</td><td>・ Web 検索と まとめ</td><td>・ インターネットを利用して調べ学習を行い、プリントにまとめる。 ・ 「調べたテーマの未来」について自分の意見を書く。【意思決定能力】</td></tr><tr><td>1 時間</td><td>・ ページレイアウトの作成</td><td>・ まとめたものを数ページに割りふり、各ページのレイアウトを考え、プリントに記入する。</td></tr><tr><td>4 時間</td><td>・ プレゼンテーションの作成</td><td>・ 毎時間制作カードに進み具合と感想を記入させ、計画的に作成できるようにさせる。【学ぶエネルギー】 ・ スライドを作らせる。 ・ アニメーションを作らせる。 ・ スライドを追加させる。 ・ イラスト・写真を貼らせる。著作権にふれ、利用については十分注意させる。 ・ リンクを作成させる。 ・ 最終確認をさせる。近くの人に見てもらい、見やすさなど、アドバイスをしてもらう。【かかわり】</td></tr><tr><td>1 時間</td><td>・ プレゼンテーション発表</td><td>・ 工夫した点などを説明しながら作成したプレゼンテーションを発表させる。</td></tr></table>			時 間	指導項目	主な指導内容	1 時間	・ ガイダンスと テーマ設定	・ 見本を配付し、授業の流れを説明することで、内容を把握させる。 ・ 昨年度の生徒たちが選んだテーマを例示し、参考にさせる。【学ぶエネルギー】	2 時間	・ Web 検索と まとめ	・ インターネットを利用して調べ学習を行い、プリントにまとめる。 ・ 「調べたテーマの未来」について自分の意見を書く。【意思決定能力】	1 時間	・ ページレイアウトの作成	・ まとめたものを数ページに割りふり、各ページのレイアウトを考え、プリントに記入する。	4 時間	・ プレゼンテーションの作成	・ 毎時間制作カードに進み具合と感想を記入させ、計画的に作成できるようにさせる。【学ぶエネルギー】 ・ スライドを作らせる。 ・ アニメーションを作らせる。 ・ スライドを追加させる。 ・ イラスト・写真を貼らせる。著作権にふれ、利用については十分注意させる。 ・ リンクを作成させる。 ・ 最終確認をさせる。近くの人に見てもらい、見やすさなど、アドバイスをしてもらう。【かかわり】	1 時間	・ プレゼンテーション発表	・ 工夫した点などを説明しながら作成したプレゼンテーションを発表させる。
時 間	指導項目	主な指導内容																			
1 時間	・ ガイダンスと テーマ設定	・ 見本を配付し、授業の流れを説明することで、内容を把握させる。 ・ 昨年度の生徒たちが選んだテーマを例示し、参考にさせる。【学ぶエネルギー】																			
2 時間	・ Web 検索と まとめ	・ インターネットを利用して調べ学習を行い、プリントにまとめる。 ・ 「調べたテーマの未来」について自分の意見を書く。【意思決定能力】																			
1 時間	・ ページレイアウトの作成	・ まとめたものを数ページに割りふり、各ページのレイアウトを考え、プリントに記入する。																			
4 時間	・ プレゼンテーションの作成	・ 毎時間制作カードに進み具合と感想を記入させ、計画的に作成できるようにさせる。【学ぶエネルギー】 ・ スライドを作らせる。 ・ アニメーションを作らせる。 ・ スライドを追加させる。 ・ イラスト・写真を貼らせる。著作権にふれ、利用については十分注意させる。 ・ リンクを作成させる。 ・ 最終確認をさせる。近くの人に見てもらい、見やすさなど、アドバイスをしてもらう。【かかわり】																			
1 時間	・ プレゼンテーション発表	・ 工夫した点などを説明しながら作成したプレゼンテーションを発表させる。																			

題材の紹介
と作品例

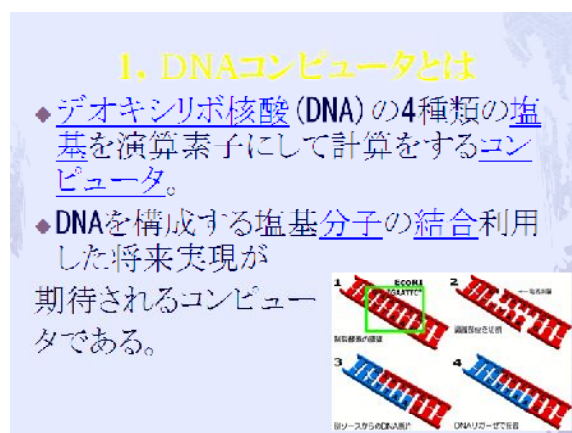
○生徒がえらだテーマ

- ・ロボットセラピー
- ・携帯電話
- ・コンピュータグラフィックス
- ・電子マネー
- ・医療ロボット
- ・コンピュータアニメーション
- ・ETC システム
- ・POS システム
- ・DNA コンピュータ
- ・ペット型ロボット
- ・救助ロボット
- ・デスクトップミュージック

○生徒の作品



調べたことをどうまとめるかが分かるように、見本を示し、それを参考にまとめさせた。また、インターネットの書き写しにならないように、調べたことに対しての自分の意見を書かせた。



アニメーション、イラスト、写真を取り入れる課題を設定し、問題解決学習となるようにした。中にはその他の機能もたくさん使って作品を仕上げた生徒もいた。

準備・材料等

- ・「コンピュータと社会」について調べてみよう（学習シート）
- ・プレゼンテーションレイアウトシート
- ・Microsoft Office Power Point
- ・プレゼンテーション制作マニュアル
- ・USB メモリ
- ・プレゼンテーション制作カード

〔本題材を考案するに当たって参考にしたもの〕

- ・中学校学習指導要領解説 技術・家庭科編（文部科学省）